

第1章 保育内容の基本構造

第1節 保育内容総論という科目の特性

第2節 「保育指針」、「教育要領」における保育内容の捉え方と保育の基本構造

第3節 領域「健康」の構造

第4節 領域「人間関係」の構造

第5節 領域「環境」の構造

第6節 領域「言葉」の構造

第7節 領域「表現」の構造

第2章 保育の特質

第1節 幼稚園教育及び保育所保育の特性

第2節 「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」の変遷

第3節 幼稚園教育と保育所保育の特質

第3章 保育内容の変遷

第1節 明治期—幼稚園・託児所のはじまり

第2節 大正期—保育内容の充実

第3節 戦時下の保育内容

第4章 幼児の発達と生活

第1節 幼児の発達

第2節 幼児の生活

第3節 年齢ごとの発達と保育内容

第5章 幼児理解と保育内容

第1節 幼児理解

第2節 カウンセリングマインド

第3節 子どもを見る目

- 第4節 省察
- 第5節 受容と共感
- 第6節 記録することによる幼児理解

第6章 「環境」と保育内容

- 第1節 幼児の発達と環境
- 第2節 環境を通して行う教育
- 第3節 環境の構成

第7章 遊びと学び

- 第1節 子どもにとっての遊び
- 第2節 遊びの中での学び
- 第3節 遊びを通しての総合的な指導
- 第4節 遊びを支える保育者の援助

第8章 保育内容と保育の計画

- 第1節 保育における計画
- 第2節 保育の計画の考え方
- 第3節 指導計画の考え方
- 第4節 具体的な指導計画
- 第5節 保育所における全体的な計画と指導計画の実際

第9章 保育内容と保育の展開

- 第1節 子どもの活動
- 第2節 幼稚園・保育所における指導の特質
- 第3節 環境を構成する
- 第4節 幼稚園・保育所における指導の課題

第 10 章 さまざまな主義の保育と保育内容

第 1 節 宗教にかかわる保育内容・方法を重視した保育

第 2 節 人物の名前を冠した保育

第 11 章 保育内容におけるメディア活用

第 1 節 保育とパーソナルコンピューター

第 2 節 保育とテレビジョン

第 3 節 保育と絵本

第 4 節 保育と紙芝居

第 5 節 保育とラジオ

第 6 節 保育と楽器

第 7 節 保育と歌

第 8 節 保育と手遊び

第 12 章 保育の評価と記録

第 1 節 評価とは何か

第 2 節 保育と記録

第 3 節 自己評価

第 13 章 保育者の役割

第 1 節 保育者の使命と役割

第 2 節 保育者の人間性

第 3 節 受容と共感

第 4 節 保育者の資質の向上

第 14 章 保育内容における現状と課題

第 1 節 小学校教育との連携

第 2 節 保育所・認定こども園の課題と今後の展望

第 3 節 家庭や地域との連携

第 4 節 保育と地域連携のこれから

第 15 章 今日の保育の課題と保育内容

第 1 節 生活環境の変化と保育内容

第 2 節 幼稚園や保育所をめぐる状況の変化と保育内容

第 3 節 新たな保育需要と保育サービスの課題